
個人投資家様向け説明会

2020年6月6日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732

- I. FX取引について
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の株主還元について

参考資料

I. FX取引について





Money Partners Group

FX取引とは①

◆ FXは“foreign exchange”（外国為替取引）の略称

FX、外貨両替とも、外国為替相場の動きを利用して利益を得ることが可能

①1ドル=100円の
ときにドルに交換

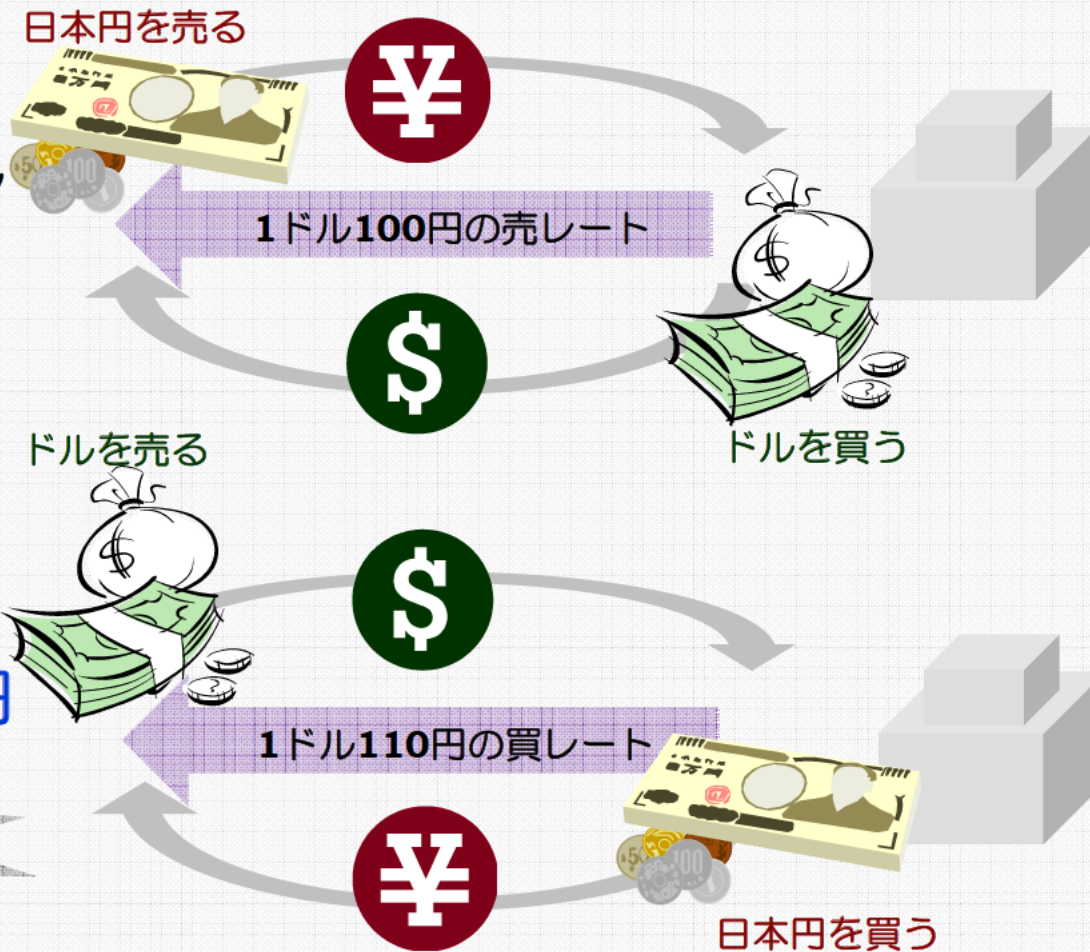
100万円⇒1万ドル

相場変動（円安）

②1ドル=110円の
ときに円に交換

1万ドル⇒110万円

10万円の為替利益





Money Partners Group

FX取引とは②

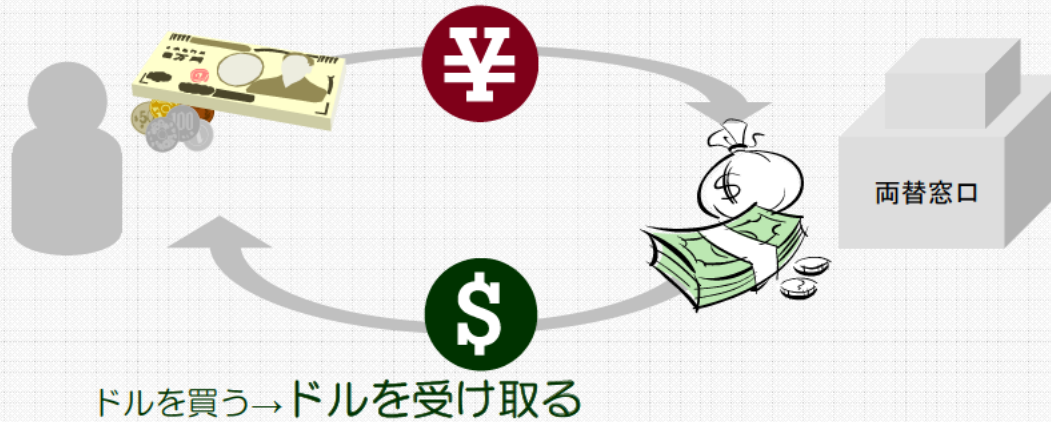
◆ FXと外貨両替の違い

FXは、現物（通貨）の受け渡しのタイミングを選べる

外貨両替

その場で受け渡し

日本円を売る→日本円を支払う

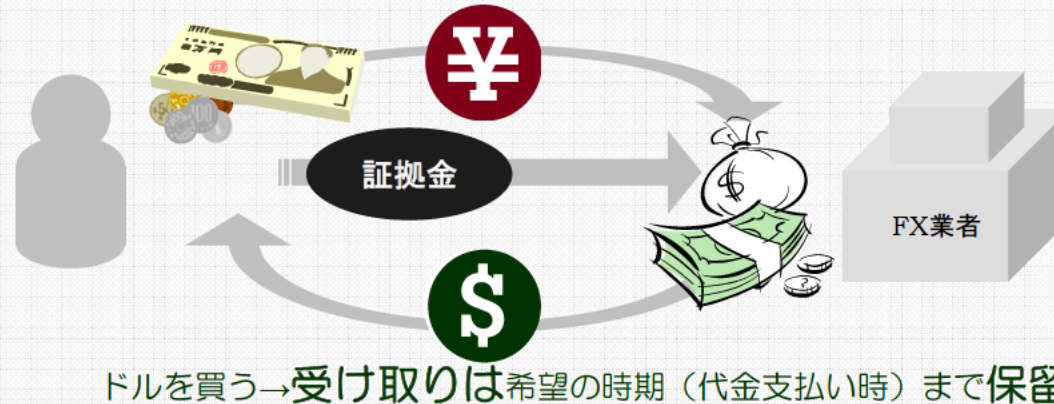


FX

受け渡しはその場で行わない
(無期限延長・反対売買も可)

証拠金（手付金）を預託する

日本円を売る→価格のみ取り決めて、支払は希望の時期まで保留



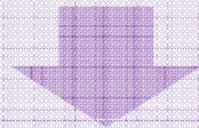
◆ FXの特長

■ 割安な取引コスト

お客様への提示レートが市場の相場と連動することから、外貨両替等1日に1回のレート提示を行う場合と比べ業者にとっての市場変動リスクがほぼゼロになるためお客様にとって有利なレート提示が可能に

外貨両替

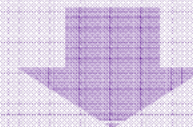
売値と買値の差・・・5~6円



1万ドルを買ったときのコスト
=2万5,000円~3万円

FX

売値と買値の差・・・0.3銭



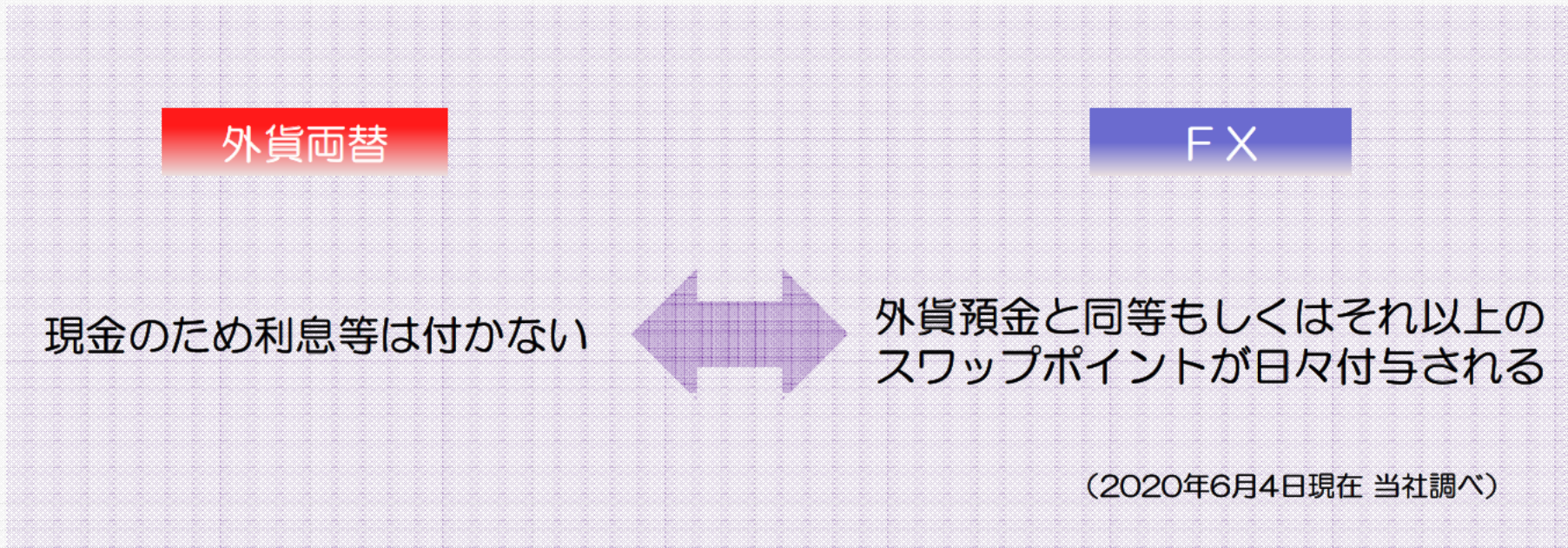
1万ドルを買ったときのコスト
=15円



◆ FXの特長

■ スワップポイント

現物の受け渡しを行う（もしくは反対売買による決済）までの間、買い通貨と売り通貨の金利差をスワップポイントの受け渡しにより日々調整
→金利の高い通貨（ex.豪ドル）を買い、金利の低い通貨（ex.円）を売った場合、金利差に相当する収益を受け取ることができる



(2020年6月4日現在 当社調べ)



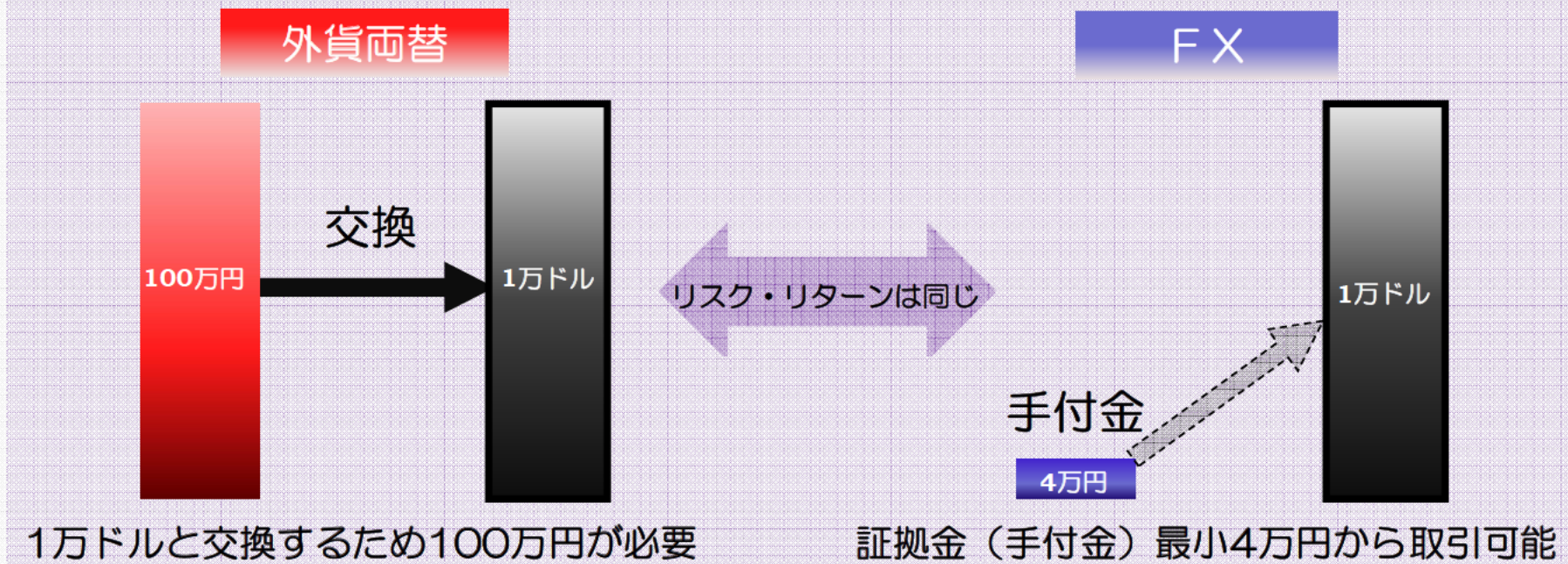
FX取引とは⑤

◆ FXの特長

■ 高い資金効率

現物の受け渡しを別にする、取引に必要な資金は手付金（証拠金）のみ
(必要証拠金は、取引総額に対して最小4%=レバレッジ最大25倍)

1ドル=100円の時に1万ドル投資する場合



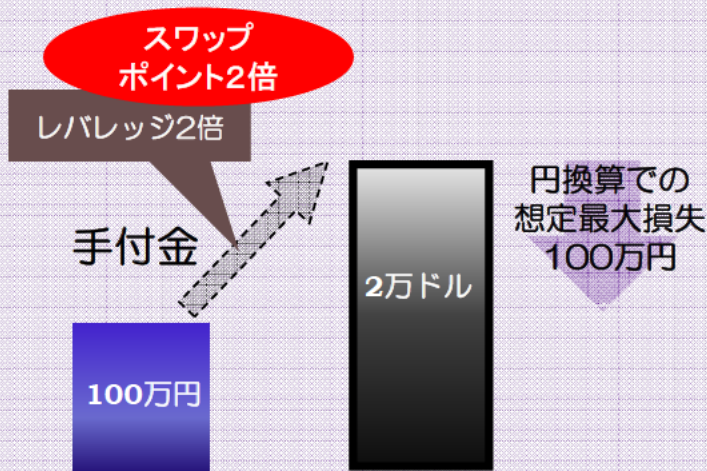


◆ FXの特長

■ レバレッジの考え方（例）

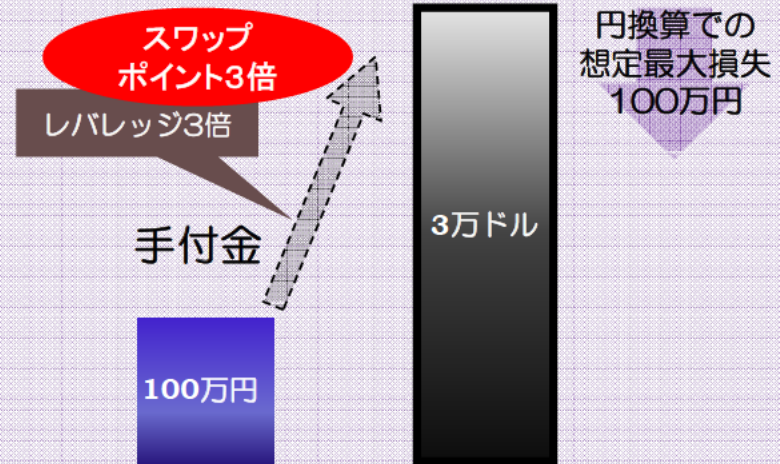
1ドル=100円の時に、

①長期的にも1ドル50円以下
（約半分）
にはならないと想定



100万円の手付金で2万ドルを買建て
→スワップポイントは1万ドルの2倍

②長期的にも1ドル66円以下
（約3分の2）
にはならないと想定



100万円の手付金で3万ドルを買建て
→スワップポイントは1万ドルの3倍



【税制優遇※】

申告分離課税の適用（一律20%）

繰越損失控除が3年間可能に

※平成23年度税制改正（うちFXに関連する部分）より

【投資家保護】

レバレッジ規制

過大な取引を抑止（証拠金の25倍まで）

ロスカット ガイドライン制定

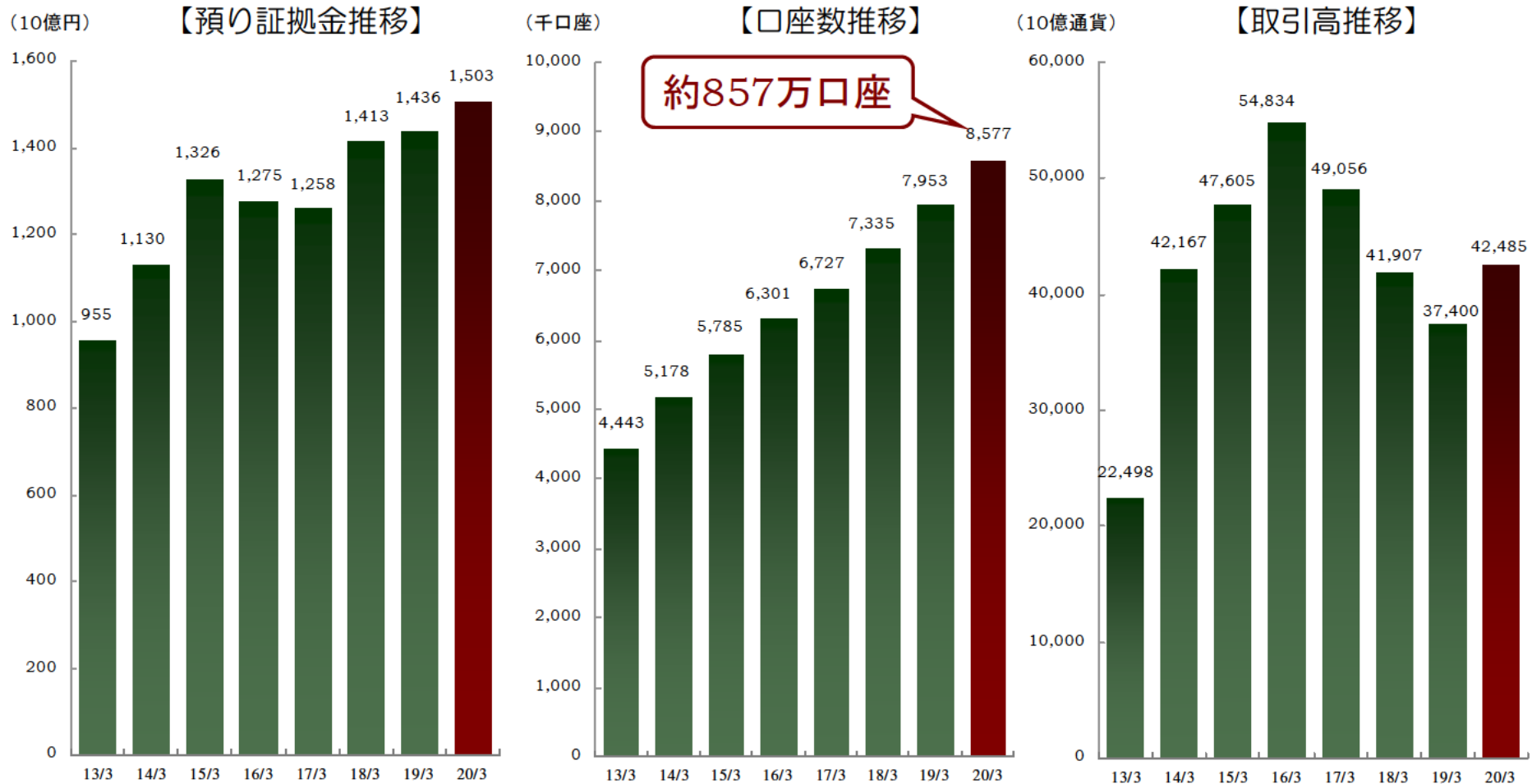
損失を限定

顧客預り資産の信託義務

資産の安全性確保

FX取引の市場規模について①

取引高については規制や相場変動により増加ペースは一定でないものの、
預り証拠金・口座数などFX市場の基盤は継続して成長



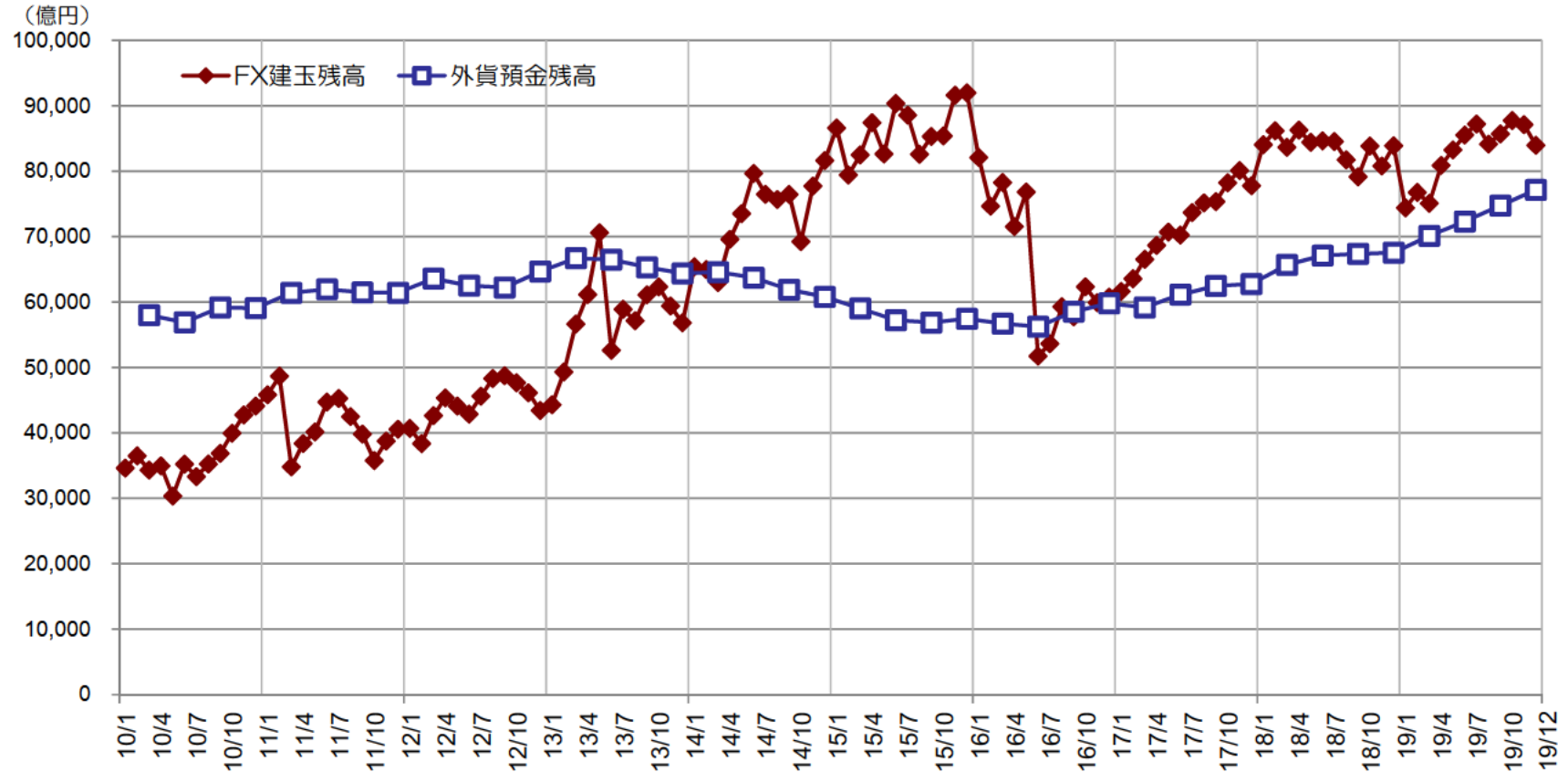
※金融先物取引業協会統計資料「四半期統計データ」より



FX取引の市場規模について②

■ FX建玉残高（※）及び外貨預金残高（家計の外貨預金残高）の推移

※買建玉と売建玉の合計（投資残高に相当）



※日本銀行統計時系列統計データ及び金融先物取引業協会統計資料・(株)東京金融取引所取引関連データより当社作成

建玉残高（ストック）は2014年以降外貨預金残高（家計部門）を上回る水準に。但し、相場状況によってFX建玉残高は増減（特に円高局面では減少する傾向）。

FX取引の市場規模について③

パスポート（一般旅券）発行数
（2019年1月～12月累計）

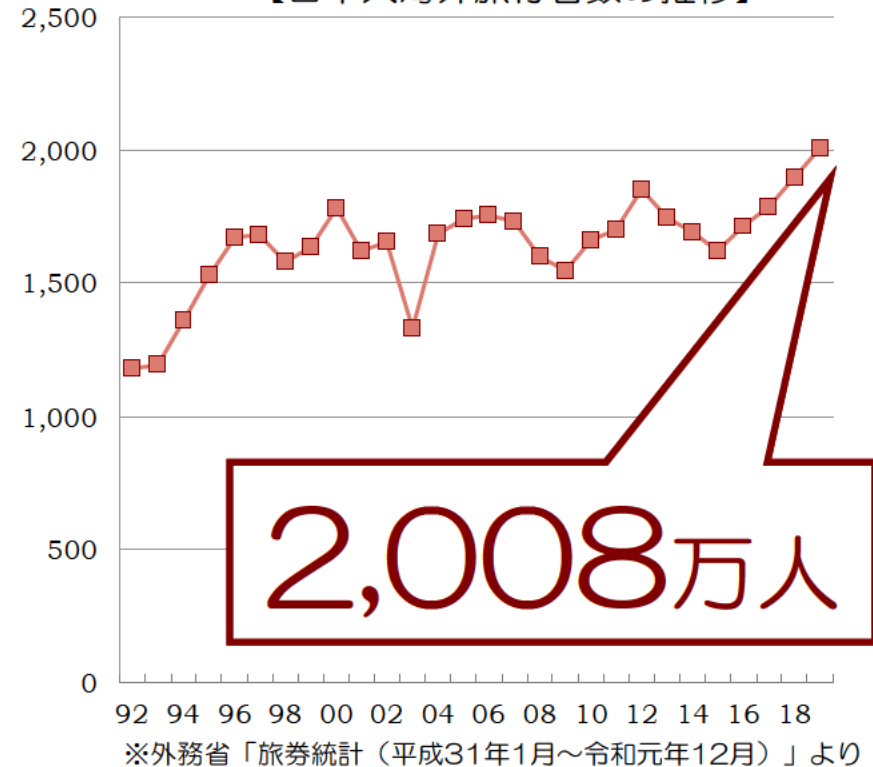
448万件

パスポート有効旅券数
（2019年12月31日時点）

5年旅券 779万人分
10年旅券 2,243万人分

計 3,022万人分

【日本人海外旅行者数の推移】



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、3,000万人超
FXの透明化・一般化が進めば、FX市場の成長も加速

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介



FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
(その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更)

FX専業業者で東証一部上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場
(※現東証JASDAQ市場)にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録(当時)
- さらに2012年5月東証二部へ上場、2013年5月東証一部へ指定変更

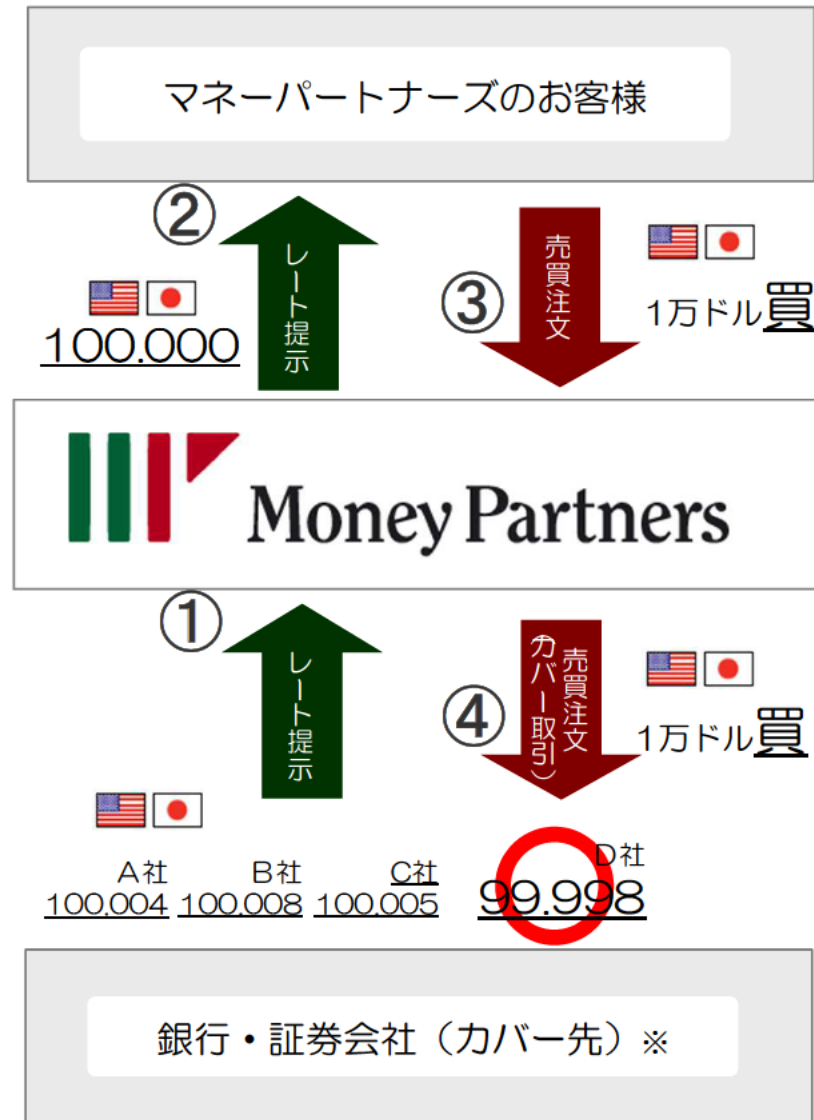
業界をリードする先進的サービス

- デリバティブ(FX)から実需(外貨両替)まで幅広いサービス
- 外貨決済サービスを提供中(Manepa Card)
- 仮想通貨(暗号資産)は2021年3月期第1四半期中サービスインに向け準備中

Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み



当社グループの収益構造



- ① 複数の銀行・証券会社 (カバー先) よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを表示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社 (カバー先) へカバーする

お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$100.000 - 99.998 = 0.002円$$

$$1万ドル \times 0.002円 = \underline{20円}$$

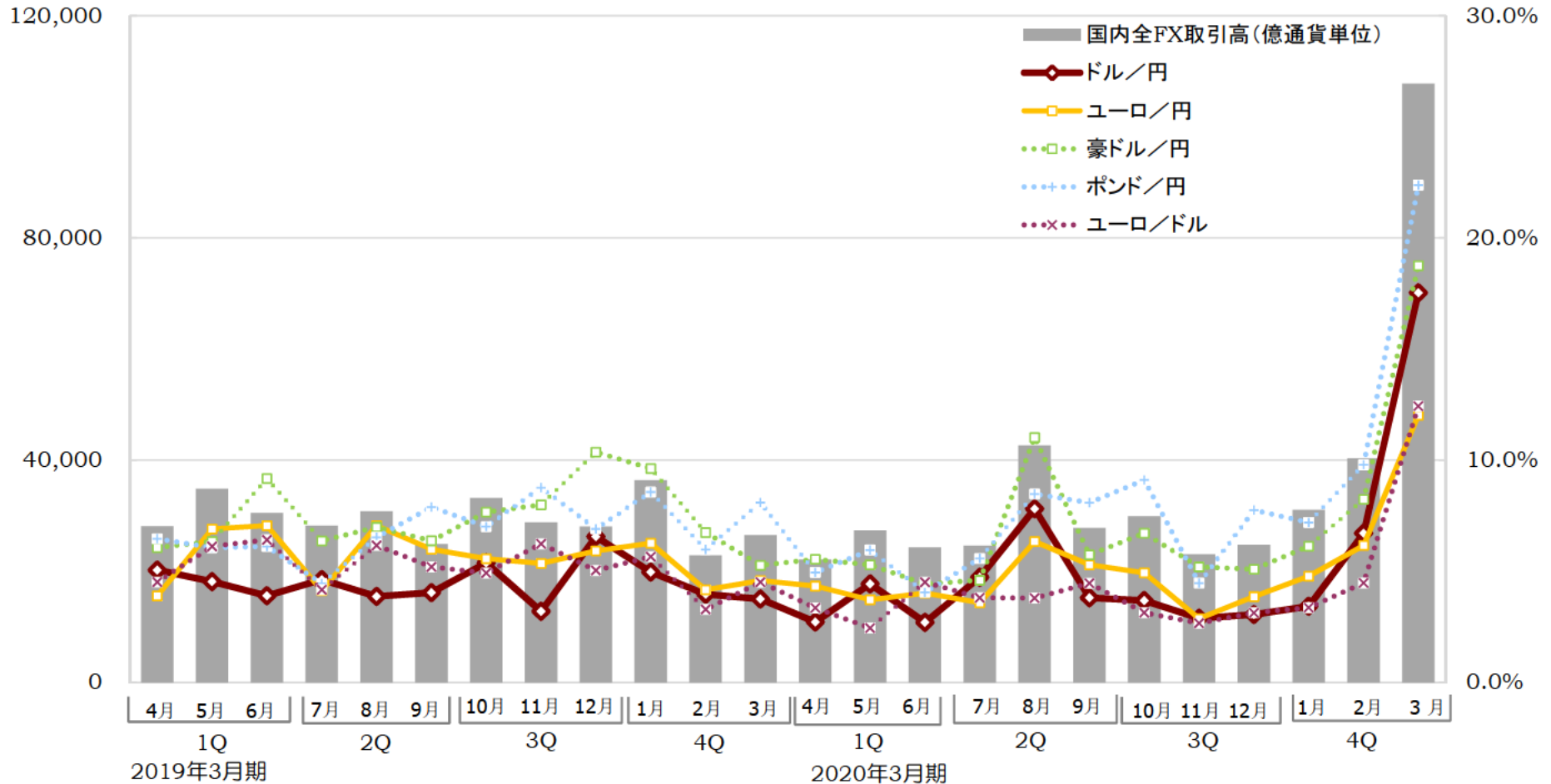
※パークレイズ銀行、ドイツ銀行、三菱UFJ銀行、大和証券等、計19社



Money Partners Group

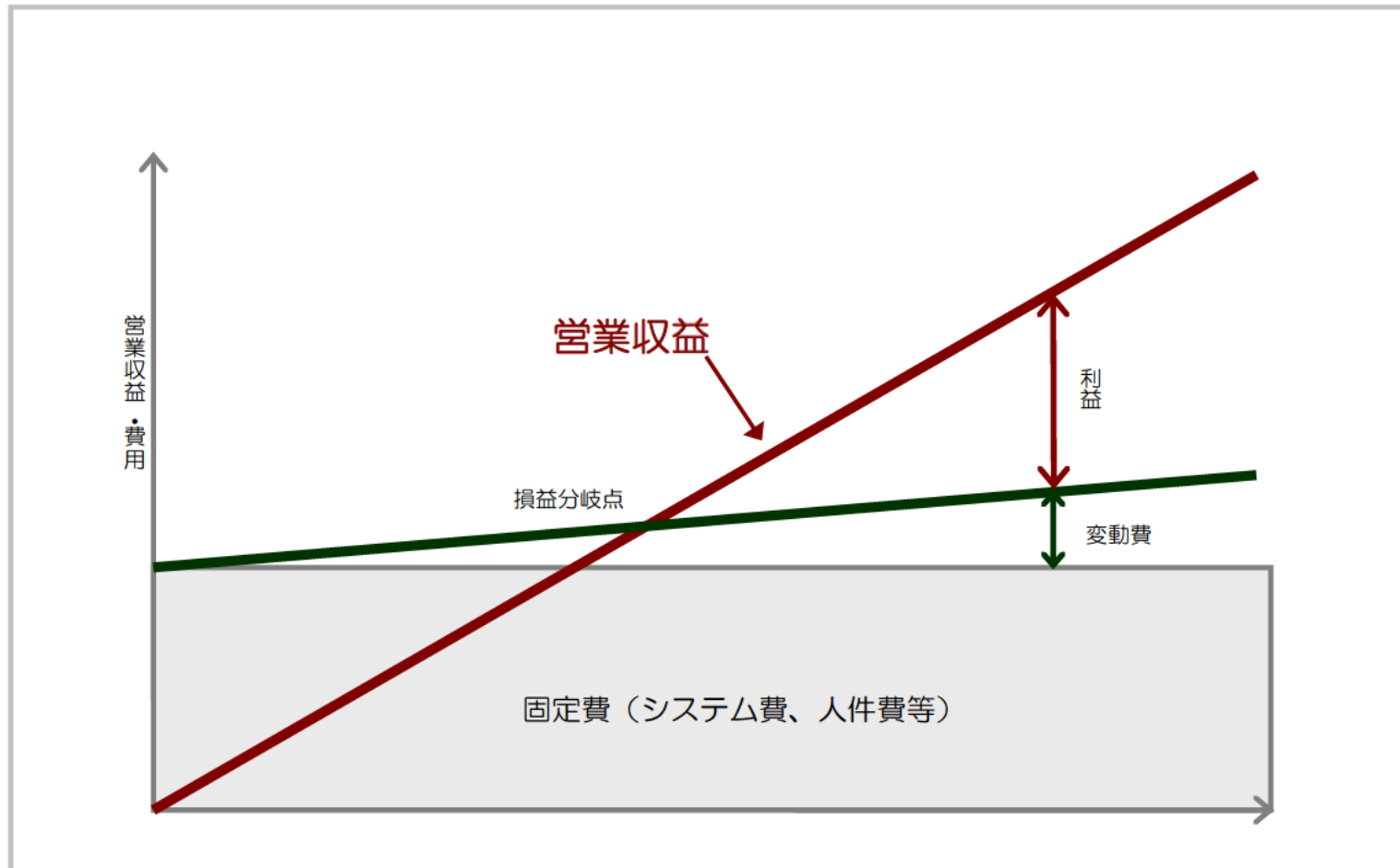
FX取引高と外国為替相場の関係性

■ FX取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



- ・FX取引高は外国為替相場の動きと強い相関関係（相場が動くと取引高が増える）
- ・当社グループの売上高（営業収益）は、19ページの利益構造のようにFX取引高に概ね連動

当社グループの利益構造の特徴



変動費の割合が小さく、損益分岐点を越えた後は営業収益の増加に比例し利益も大きくなる。



Money Partners Group

差別化商品・サービス

Manepa Card

「日本」でも「海外」でも使うことができる
多通貨対応プリペイドカード



1枚で6つの通貨のチャージOK!



「低コスト」かつ「高い利便性」

1,000通貨をショッピングに利用した際の手数料を比較 (単位: 円)

	米ドル	ユーロ	豪ドル
マネバカード (1%還元)	1,323	1,685	1,149
クレジットカード (0.3%還元)	1,617	1,911	1,299
おトク度	18%	12%	12%

おまかせチャージ おまかせ両替



ストレスフリーの海外旅行!

「おまかせチャージ」と「おまかせ両替」機能を両方ONにすることで、入金だけで世界中どこでもショッピングやATM引出にご利用いただけるカードになります! 1回の旅行で複数の通貨が必要なシーンでも、あなたに代わって自動でチャージ・両替しておきます。マネバカードでストレスフリーな海外旅行をお楽しみください。※自動でのチャージ・両替は、お預かりしている資金内および限度額内で実施されます。

コンビニから24時間入金が可能

事前にカード会員専用サイトからお手続きいただくことで、土日を含む24時間365日、コンビニエンスストアの店頭から日本円をマネバカード口座に入金することができます。さらに入金の反映は通常リアルタイム〜約15分程度なので、マネバカードへのチャージが急になった時でも便利にご利用いただけます。※システムメンテナンス時等ご利用できません。※所定の手数料・印紙代がかかります。



Money Partners Group

差別化商品・サービス

空港外貨受取サービス※



※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年3月31日より当サービスを一時的に停止させていただいております。

3つのお得と便利

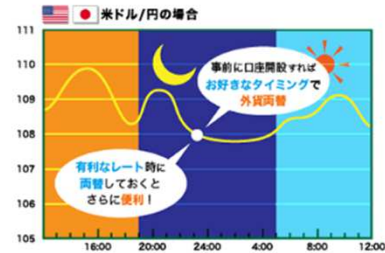
1

両替手数料は最大約91%OFF
※英ポンドの場合

両替
手数料
最大約 **91% OFF**

2

事前に口座開設しておけば、好きなタイミングで外貨両替ができます。有利なレート時にあらかじめ両替しておくさらに便利。



3

両替した外貨(現金)は、国内主要4空港で受け取れます。

6通貨に対応!

日本国内の主要4空港で受け取れます



米ドル



ユーロ



ポンド



スイスフラン



韓国ウォン



中国元

成田空港



SKYLINER&KEISEI
INFORMATION CENTER

羽田空港



トラバレックス
羽田空港国際線ターミナル駅店

関西国際空港



トラバレックス
関西空港駅店

中部国際空港



トラバレックス
セントレアアクセスプラザ店



Money Partners Group

差別化商品・サービス

◆外貨引受サービス

小売業やサービス業等の リアル店舗への支援活動を推進



店舗：外国人観光客からの売上増 ↔ マネーパートナーズ：ブランディング効果



Money Partners Group

差別化商品・サービス

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

ビギナー層向け少額FX

元祖 少額FX！

[[[[[nano

『クイック発注ボード』

HYPER SPEED Touch nano

『HyperSpeedTouch nano』



◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

他の証券会社と同様に、証券取引を取扱い。

保有株式を代用掛目70%で評価し、現金不要（株式だけ）でFXがお取引いただけます。

ここがスゴイ！ マネパの証券取引

1 預けた株が証拠金！ **現金不要でFX取引可能!** 掛目 70%

2 手数料がダンゼンお得！ **売却手数料が完全無料** 約定代金に関わらず 0円

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ





Money Partners Group

差別化商品・サービス

◆公正かつ透明性の高いサービス (FX)

5年連続顧客満足度No.1



2020年オリコン顧客満足ランキング
「FX取引」において**5年連続で第1位**
を獲得しました。

約定率No.1



FX取引において重要とされる注文の約定についての
主要業者を対象とする調査の結果、
約定価格の公正性・透明性において
11年連続で最も高い評価をいただきました。

◆金銀の取引サービス

FXとほぼ同じ取引ルールで
金・銀の取引を提供

カンタン取引で、収益チャンスが多い!

マネパの CFD **手数料完全無料**

- 取引ルールはFXとほぼ同じ!
- 小さい取引単位で少額から取引可能!
- 電話サポートあり! 安心のコールセンター
- 安全! 100% 信託保全+α

◆『トレードレポート』

トレードの通信簿で、あなたの投資が進化する!



勝つためのトレード
スタイルやトレード
手法を勉強できます!

多角的な観点から分析!
客観的な数値データを提供
第三者視点でのアドバイス掲載

掲載されているトレードレポートの内容は、ある一定期間においてお客様の取引結果に基づいて作成したものです。トレードレポートはあくまで参考情報として提供されており、必ずしも利益を生むものではありません。また、トレードレポートはあくまで参考情報として提供されており、必ずしも利益を生むものではありません。また、トレードレポートはあくまで参考情報として提供されており、必ずしも利益を生むものではありません。

◆キャンペーン、セミナーの開催（FX）

創業15周年キャンペーン



積極的な『情報提供・投資教育』



これまでのご愛顧へ**感謝**を含め、過去にお取引いただいたお客様に対するキャンペーンを実施中。

当社代表によるセミナーをはじめ、経済動向や投資手法等を解説するWEBセミナーを積極展開。

IV. 業績の推移





■ 最近5期のP/L主要数値推移

(単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	前期比 増減率
営業収益	6,096	6,040	6,029	6,230	5,872	▲5.7%
受入手数料	54	92	104	94	84	▲9.8%
トレーディング損益	5,962	5,731	5,671	5,621	5,400	▲3.9%
金融収益	14	21	62	81	65	▲19.6%
その他の売上高	64	195	190	433	322	▲25.7%
金融費用	94	147	181	185	193	4.4%
売上原価	28	120	131	372	263	▲29.3%
純営業収益	5,972	5,771	5,716	5,673	5,416	▲4.5%
販売費・一般管理費	4,447	4,598	4,670	4,501	4,793	6.5%
営業利益	1,525	1,173	1,046	1,171	622	▲46.9%
経常利益	1,573	1,198	1,064	1,181	595	▲49.6%
税金等調整前四半期純利益	1,562	1,178	1,064	1,149	515	▲55.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	794	719	772	249	▲67.7%
営業収益経常利益率	25.8%	19.8%	17.7%	19.0%	10.1%	
自己資本当期純利益率	9.0%	6.6%	5.6%	5.8%	1.8%	

2020/3期は、期初から外国為替市場の変動率は低迷していたが、2020年2月下旬から外国為替市場が大きく変動し、その影響で業界の外国為替取引高は全体で約20%の増加となる。

第3四半期までは営業収益面で苦戦するも、第4四半期からの既存顧客重視の施策展開により、営業利益・経常利益を第4四半期で大幅確保することとなった。

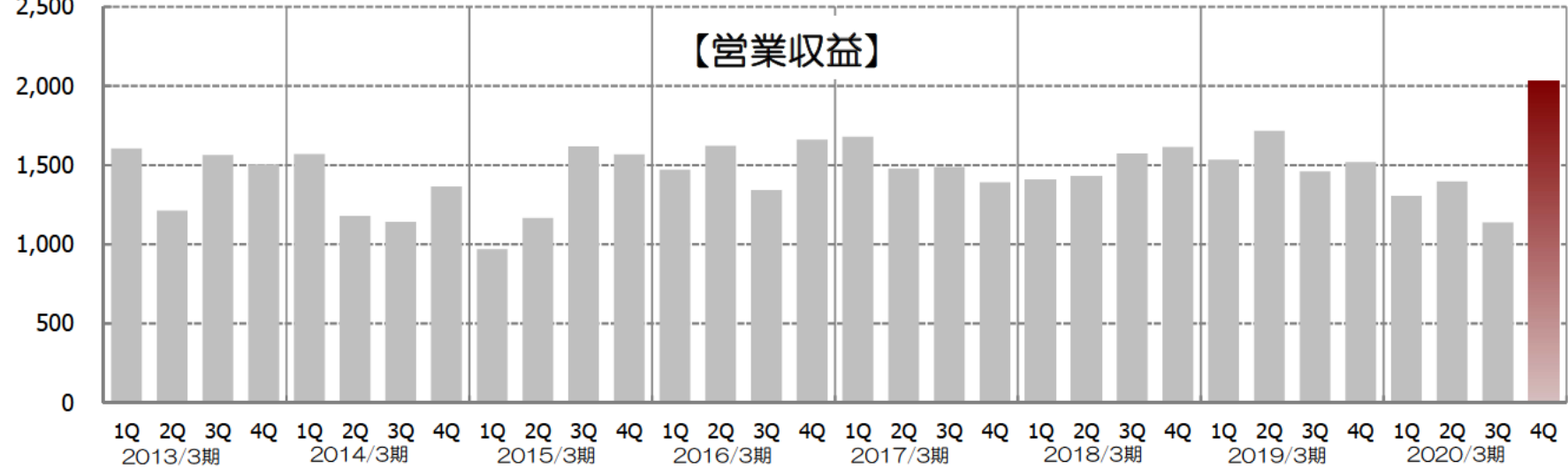


Money Partners Group

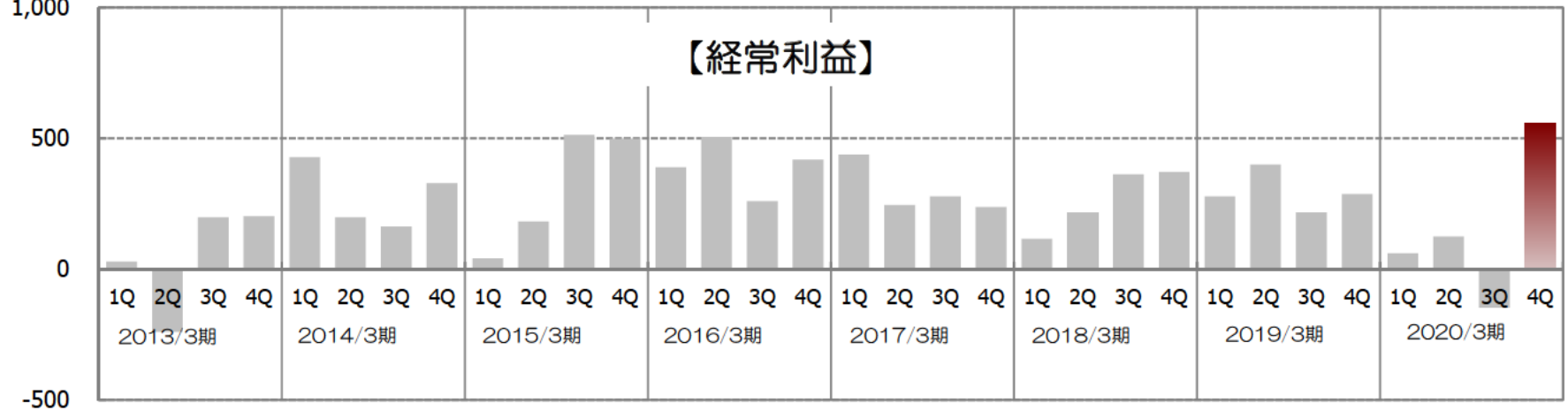
四半期業績推移

■ 営業収益と経常利益の推移

(単位：百万円)
2,500



(単位：百万円)
1,000



▶ 新型コロナの影響について

- 空港外貨受取サービスは一時停止中（3月31日より）
海外旅行需要の蒸発により決済系事業は苦戦（外貨両替・越境ECは稼働）
- 自粛要請を受け在宅のテレワーク、変則シフト、時差出勤等を積極推進
- FX、証券、CFDはサービス継続中。稼働需要も従来通り
- コイネージ登録・開業準備は当初予定よりやや遅延

▶ FX売上面

- 19年4月～20年2月 相場低迷と価格競争により、取引高低下及びシェアが減少、
営業収益面で苦戦
- 20年1月～3月 既存顧客重視路線を再確認、重点施策展開
コロナ禍中、不安定なマーケットの中で問題なく当社サービスを継続
結果として営業収益、経常利益の追い風となる

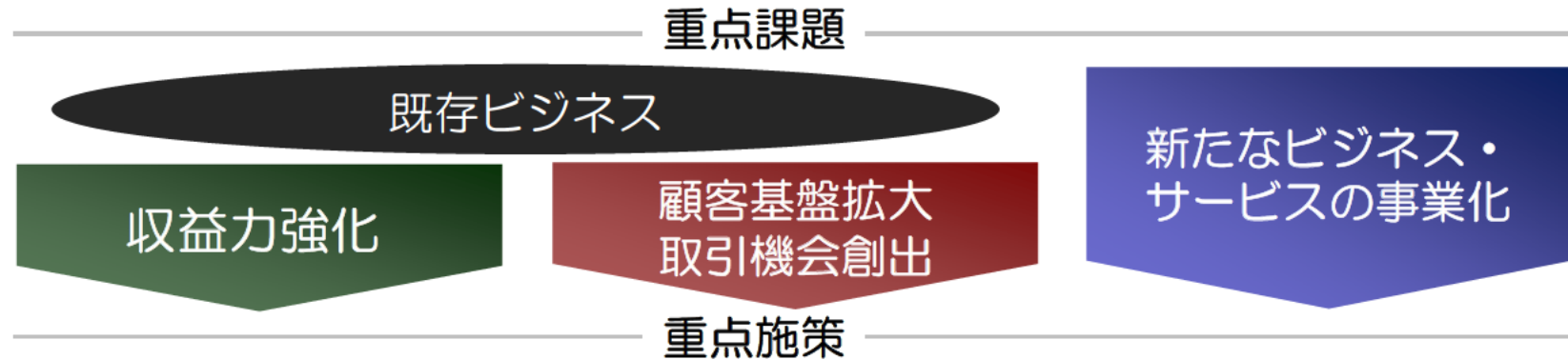
▶ コスト面

- 19年7月にコイネージ社を完全子会社化、登録・開業に向け準備（コスト約3億円）
今春開業予定で1年内外での単月黒字化を目指す
- 基幹システムの更新を3Qに無事完了、特別損失含め約1.5億円計上するも、今後は年間
約1.5億円超のコスト削減を見込む（本年3月のコスト抑制にも寄与）

V. 経営戦略

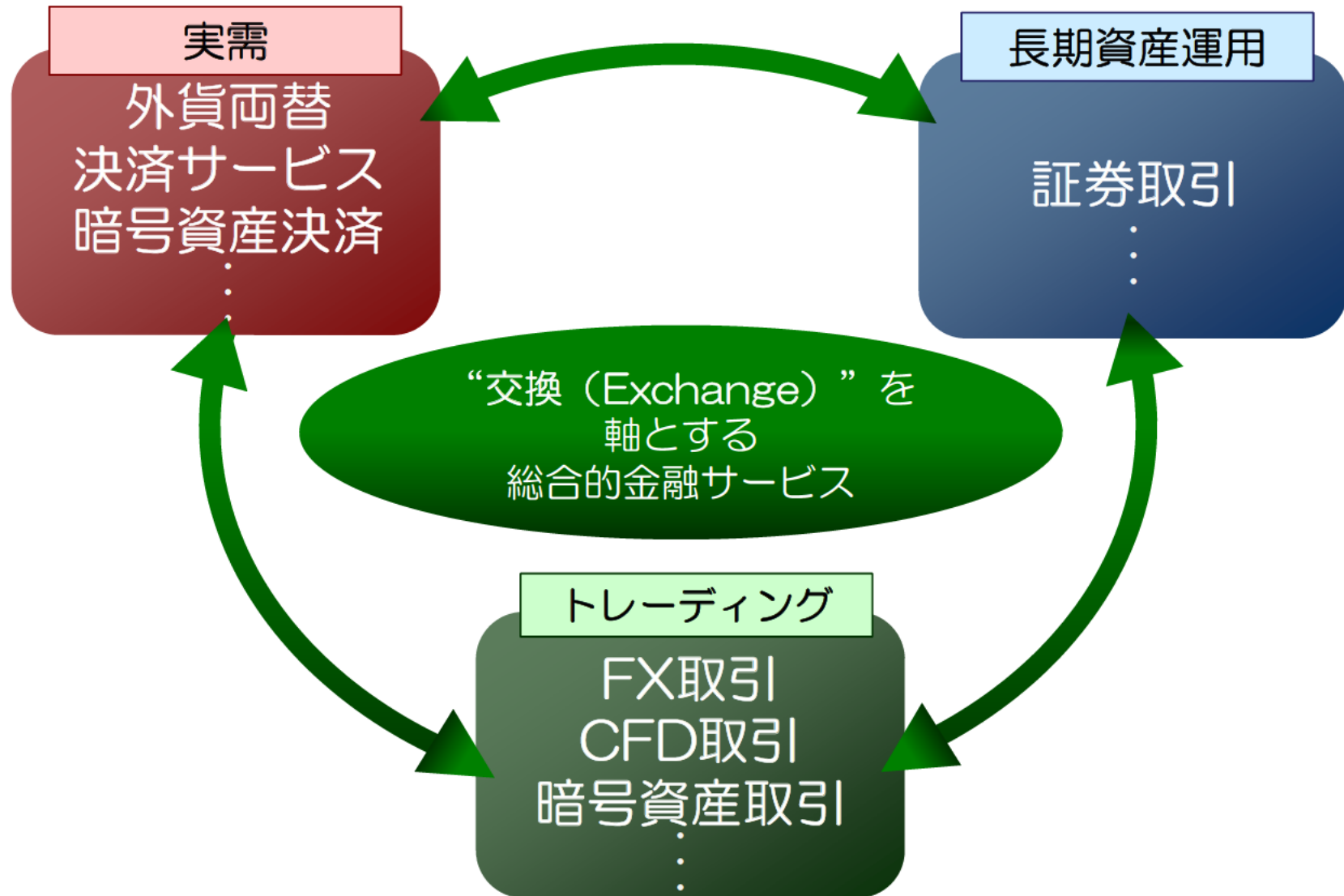


当社グループの重点施策



- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 収益基盤の多様化と収益性の更なる向上





■ 仮想通貨交換業への本格的参入

2019年7月1日、仮想通貨交換業登録の準備を進めているコインネージ(株)の株式を取得し、連結子会社化

<実施済み>

2019年7月

コインネージ(株)増資（第1回）400百万円

2020年2月

コインネージ(株)増資（第2回）579百万円

<今後のスケジュール>

2021年3月期第1四半期中

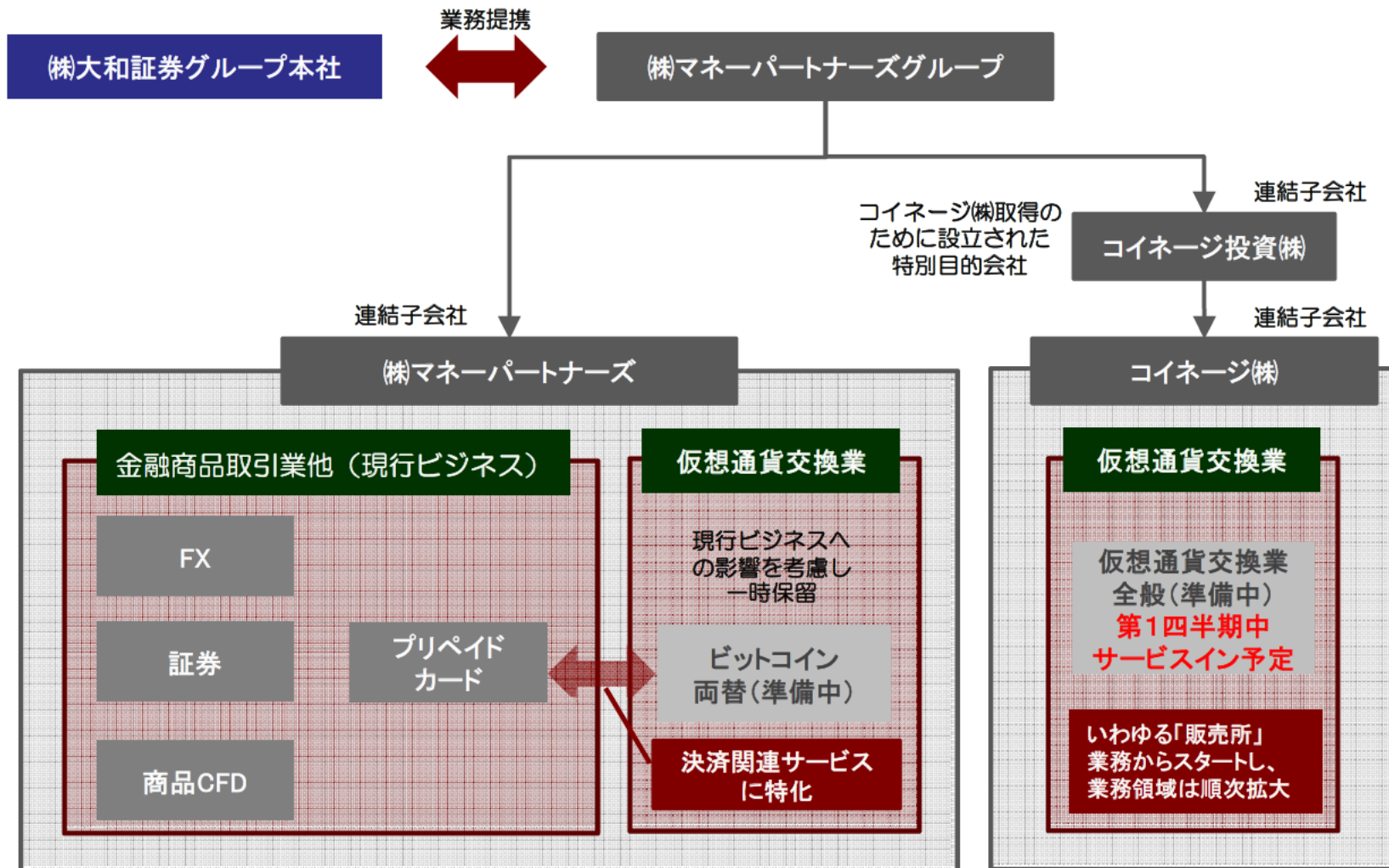
仮想通貨交換業に係るサービス開始（予定）

背景（2019年3月25日決定）

- (株)大和証券グループ本社と、ブロックチェーン技術を用いた業務及びブロックチェーン技術に係るコンサルティング業務についての提携契約締結（これと同時に、同社を割当先として転換社債型新株予約権付社債を発行し、下記新設子会社増資資金として約10億円を調達。）
- 仮想通貨交換業全般を取扱う子会社の設立

上記決定の後、状況の変化を経て新設「子会社」をコインネージ(株)に変更し現在に至る

仮想通貨（暗号資産）について



VI. 当社の株主還元について



業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向・・・連結当期純利益の30%を目処 配当機会・・・中間及び期末（年2回）

	2019年3月期				2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
当期純利益（百万円）	188	223	141	219	38	57	▲190	344	
上段：3ヶ月	188	441	553	772	38	95	▲94	249	
下段：累計									
配当金の総額（百万円）	114		146		65		（予定）97		
期末発行済株式総数（株）	33,801,900 （内、自己株式1,202,300）		33,801,900 （内、自己株式1,202,300）		33,801,900 （内、自己株式1,202,300）		33,801,900 （内、自己株式1,202,300）		
1株当たり配当金	中間・期末	3.5円		4.5円		2.0円		（予定）3.0円	
	年間	8.0円				（予定）5.0円			

2021年3月期の配当は、コインージ(株)が開業からの起ち上げ期にあたるため、安定配当を考慮して決定する方針。

参考資料



販管費推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



四半期販管費推移

■ 最近8四半期の販管費内訳及び主要費目の推移

(単位：百万円)

	2019/3期				2020/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
取引関係費	368	344	390	362	349	359	338	398	17.9%
人件費	238	242	231	238	227	274	261	295	13.4%
不動産関係費	162	165	164	172	166	165	182	178	▲2.2%
事務費	238	238	217	212	228	225	252	202	▲19.8%
減価償却費	86	91	87	87	86	93	148	151	1.8%
租税公課	22	26	21	29	20	30	28	43	50.7%
貸倒引当金繰入れ	0	▲0	▲0	0	—	▲0	▲0	1	—
その他	24	12	10	11	23	14	21	23	8.7%
販売費・一般管理費合計	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	5.0%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	126	114	160	148	142	151	147	153	3.7%
システム関連費用(※2)	335	343	320	317	317	315	346	296	▲14.4%

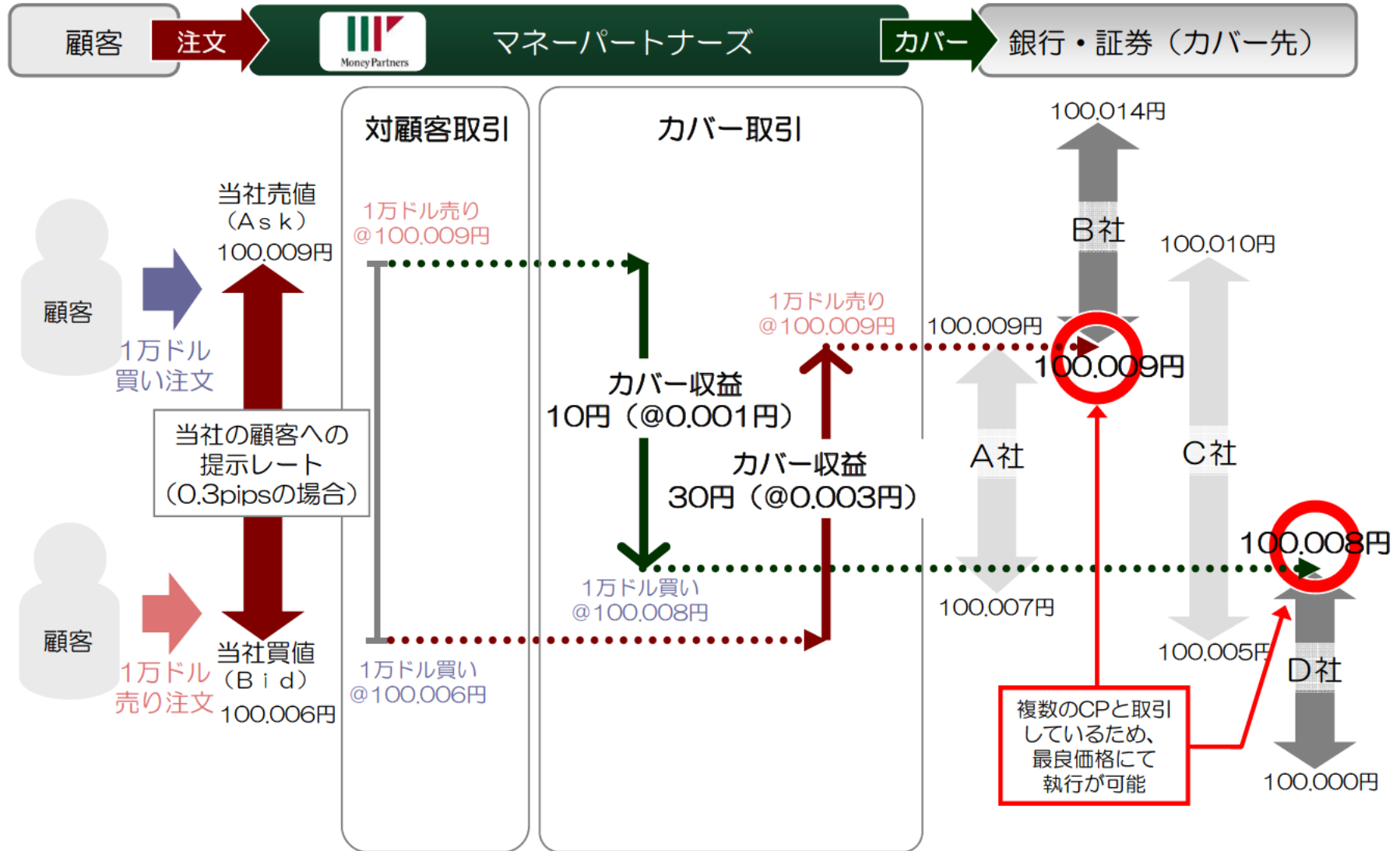
※1 取引関係費の一部となります。

※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。



Money Partners Group

当社グループの収益構造



FX取引の仕組み

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

ドル高・円安の進行
(為替レート)
1ドル=101円
(値上がり)

ドル安・円高の進行
(為替レート)
1ドル=99円
(値下がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

どちらからでも取引開始が可能

101万円-100万円=
1万円の利益

100万円-99万円=
1万円の利益



Money Partners Group

グループ概要（2020年3月31日現在）

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6233 東京都港区六本木3-2-1
住友不動産六本木グランドタワー33F
- 代表者 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 20億円
- 純資産（連結） 135億円
- 発行済株式総数 33,801,900株

■当社グループの主な事業内容

株式会社マネーパートナーズ（連結子会社）

- 加入協会： 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
日本商品先物取引協会 一般社団法人日本資金決済業協会
- 登録番号： 関東財務局長（金商）第2028号
- 事業内容： (1) 金融商品取引業、(2) 外貨両替業、(3) 資金移動業
(4) 商品先物取引業、(5) 仮想通貨交換業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（連結子会社）

- 事業内容： (1) コンピュータシステムおよびコンピュータソフトウェアの設計、開発、販売、賃貸および保守
(2) 各種マーケティング業、(3) 情報処理サービス業および情報提供サービス業

コインージ株式会社（連結子会社）

- 事業内容： 仮想通貨交換業（準備中）





本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年6月6日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2020年6月6日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

FX取引（外国為替証拠金取引）、商品CFD取引および証券取引に関するご注意

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額（スプレッド）があります。取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料（消費税込み）、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円（消費税込み）をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者・商品先物取引業者）
〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長（金商）第2028号
〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会